月刊みんぱく 2016 5月号

編集後記

3月にはじめてウズベキスタンを訪れる機会があった。表紙の写真はその際、ブハラのラビ･ハウズ（池のほとり）広場で撮ったもの。ブハラはサマルカンドと並んで、シルクロードの交易拠点として古代から栄えてきた中央アジアのオアシス都市。ペルシア芸術の遺産である繊細なタイル装飾が美しい建築でも有名で、いずれ訪れてみたいと憬（あこが）れていた場所である。

写真は、ハウズ（貯水池）の四方を16世紀から17世紀にかけて建てられたマドラサ（神学校）やハンカー（神秘主義者の修道場）が囲んでいる広場で、巨大な建造物郡がそびえるサマルカンドのレギスタン広場ほどの威圧感はなく、地元の人びとの憩いの場となっている。

マドラサの入り口アーチの上に施された鳳凰のモザイクが夕映えにきらめくなか、広場中央の縁台におじいちゃんたちが集まり、ドミノのようなゲームに興じていた。若者たちはナスレッディン・ホジャ（とんち話の主人公）の銅像の周りでふざけて、じゃれ合っている。ウエディングドレスでの写真撮影に来ている新婚カップルの姿も。

ユネスコの世界遺産に指定された博物館都市でありながら、町の人びとの生活が史跡と有機的に結びついている。こういうたまり場のある町に住んでみたい。（山中由里子）

●表紙：ラビ･ハウズ広場、ブハラ、ウズベキスタン　撮影･山中由里子

次号の予告

特集

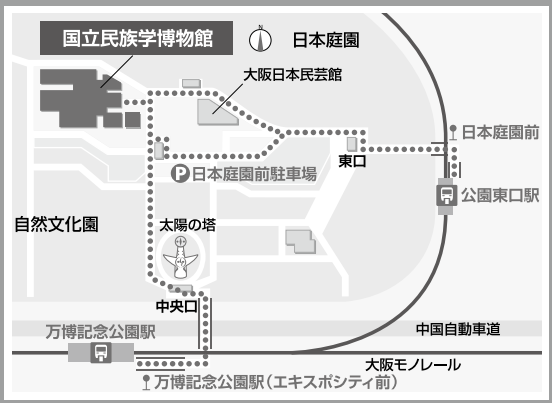
ワンロード

月刊みんぱく 2016年5月号
第40巻第5号通巻第464号　2016年5月1日発行

編集･発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話　06-6876-2151

発行人　池谷和信
編集委員　山中由里子（編集長）　河合洋尚　菅瀬晶子　丹羽典生　丸川雄三　南真木人　吉岡乾
デザイン　宮谷一款　長岡綾子
制作・協力　一般財団法人 千里文化財団
印刷　能登印刷株式会社

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」･「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
●阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅（エキスポシティ前）」「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
●乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/
みんぱくフェイスブック
http://www.facebook.com/MINPAKU.official/
みんぱくツイッター
http://twitter.com/MINPAKUofficial

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology